



綾部の地で70年。地域のみなさんのいのちを照らす。

175
2024.4



TAMAKI CHISATO

京都協立病院院長 総合診療医・玉木院長インタビュー

「総合診療医」「家庭医」「かかりつけ医」など、いろんな呼び名があるので分かりにくいかもしれませんね。もともとはイギリスの医療制度にある「G.P. (General Practitioner) : 総合医」がはじめです。GPは、患者さんの医療相談窓口として様々な医療問題に対応するだけでなく専門医や地域資源につなげる役割を担っています。心臓や肺といった臓器だけでなく、人としての患者さん、家族や地域社会

良好なコミュニケーションで患者さんを理解する

「総合診療(医)」という言葉を最近よく耳にします。具体的に紹介いただけますでしょうか？

「総合診療医」「家庭医」「かかりつけ医」など、いろんな呼び名がある

美しい風景と温かさに惹かれて綾部の地へ

幼い頃から父親に「将来は人の役に立つ仕事に」と言われて育てられたのですが、漠然と医師になればいいなと考えていました。また私は京都市出身なのですが、小中学生の頃に父親に連れられよく美山町にアユ釣りに出掛けることがありました。

京都協立病院院長 総合診療医
玉木 千里

その美しい風景と地元の方の温かさが心地よく、将来は田舎で働きたいと感じるようになりました。大学ではボート部に所属し部活動に明け暮れていたのですが、たまたま協立病院や京都

ジェンダー
フレンドリー宣言

● だれもが安心してかかれる医療をめざして
● ジェンダー学習会開催 3面へ

中面につづく

患者さんのご家族や生活に、 しっかり向き合う——総合診療

といった生活者としての視点から理解をし、医療をコーディネートしていきます。良好なコミュニケーションをもとに患者さんと一緒に病気や生活上の問題に取り組みます。日本では2018年に新専門医制度が創設され「総合診療医」と呼ばれるようになりました。

美しい風景と温かさに惹かれて綾部の地へ

どうして総合診療医になろうと思ったのですか？

幼い頃から父親に「将来は人の役に立つ仕事に」と言われて育てられたのですが、漠然と医師になればいいなと考えていました。また私は京都市出身なのですが、小中学生の頃に父親に連れられよく美山町にアユ釣りに出掛けることがありました。

地域のニーズに応え患者さんに寄り添う医師として

普段はどのような患者さんを診療されているのでしょうか？

府北部の診療所で実習する機会があり、そこで地域の人と密着しながら懸命に汗をかく医師の姿をみて「これだ！」と感じました。専門分野を追求することも大事ですが、逆に私は地域のニーズに応えられる医師になろうと思ったのがきっかけです。



File 2

このたびの

KYORITSUさん

ひたむきな探求心、職場をひっぱりこぶセラピストコンビ

Q マイブームは？

料理をすること。少し手の込んだ料理を作っています。

Q 大切にしているものは？

やる時はやるぬく時はぬくという事をモットーに、仕事でも遊びでも行うと決めたら楽しんで行うことを大切にしています。

Q なぜ、今の職場に？

以前の事務長と父親がお知り合いらしく、そこから紹介をいただいて今に至ります。

Q あなたからみた、協立病院は？

患者さんにとても優しい(少しおせっかいな?) 病院だと思っています。



病院理念

1. 安心安全の医療・福祉を推進します

私たちは、地域連携を大切にして、総合的に医療・福祉を提供し、地域の患者様の健康に責任を持ちます。私たちは、情報を公開・共有し、安心安全の医療・福祉を推進します。

2. 人権尊重・無差別平等の医療・福祉を提供します

私たちは、いつでも、だれもが安心して必要なサービスが受けられるよう、人権を尊重し、無差別平等の医療・福祉を提供します。

3. 平和を守り、社会保障を発展させます

私たちは、医療従事者の良心にかけて平和を守り、権利としての社会保障制度を発展させます。私たちは、患者様や地域の皆様、諸団体と共に、人間の尊厳が大切にされるまちづくり運動をすすめます。

Q マイブームは？

万歩計。一日10,000歩を目標に頑張っています。

Q 大切にしているものは？

楽しく仕事ができること。無理をせずに適度に休むこと。

Q なぜ、今の職場に？

元々同じ法人の京都市内の病院に勤めていましたが、子育てのしやすさを考えて、実家の近くに帰ってきました。

Q あなたからみた、協立病院は？

他部署の職員とも顔見知りになれる、ちょうど良い規模の病院かと思います。あと、リハビリ室からの景色が良いのは自慢です。



リハビリテーション科
今福 智之 さん
(入職15年目)

リハビリテーション科
夜久 賢治 さん
(入職14年目)

公益社団法人 京都保健会 京都協立病院



〒623-0045
京都府綾部市高津町三反田1番地
TEL 0773-42-0440(代表)
0773-42-0025(小児科直通)
FAX 0773-42-9459(代表)



発行：京都協立病院広報委員会

<https://www.kyoto-kyoritsu.org/>

日本HPHネットワーク
Japan Network of Health Promoting
Hospitals & Health Services



ISO 9001認証取得

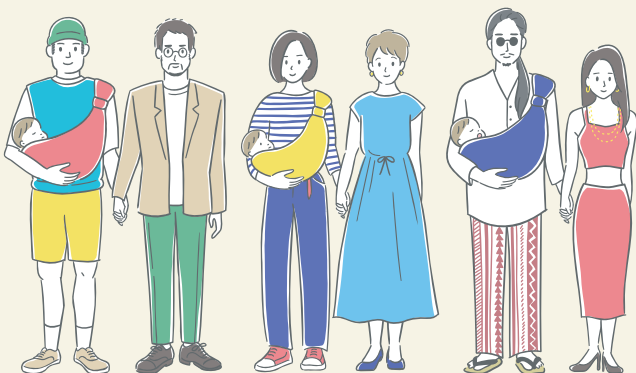


ジェンダー学習会の開催

当院も加盟している京都民医連のジェンダー委員会主催で1月25日にオンラインで学習会が開催されました。講師からは、私たちが「LGBTQの人びとが安心できる医療・福祉・介護の提供」ができれば、医療機関から社会を変えられる、と未来への展望を示されました。

また、各事業所からの報告を受けて、率直な意見や年代の差がある中で取組みが進んでいることは素晴らしい、「どうしていいかわからないこと」にみんなで相談していくプロセスの重要性、関心のある人がゆるやかに繋がることが大事など、これからの活動のヒントがもらえました。

当院でも、誰もががかりやすいLGBTQフレンドリー病院を目指して取組みを行っています。病院ホームページ左端のLGBTQ ALLY(アライ)のページで紹介していますので、ご覧下さい。



第3回HPH大会が開催されました！

去る1月25日に、第3回HPH大会が開催されました。HPH（ヘルスプロモーションホスピタルの略）とは「健康活動支援拠点病院」のことで、WHOが推奨する国際的な病院ネットワークです。院内各部署がHPHの3つの活動（地域の視点・患者の視点・職員の視点）に沿った演題の研究と実践をまとめたポスターを掲示し、大会当日には発表と質問や感想を出し合うポスターセッションを行いました。2020年から始まり3回目となった今回の大会は、どの部署の取組みも素晴らしく、発表のポスターも力作ばかりでとても興味深く、学びが大きかったという声が次々と上がっていました。



優秀賞は以下の通りです。

第3位

医事課

【後期高齢者の医療費負担について
～医療費窓口負担2割化の実態～】

昨年末に行った実態調査で、医療費が1.88倍に膨らんでいることがわかりました。生活費の中から医療費を捻出するために節約を余儀なくされています。2割負担となる世帯は決して余裕があるわけではないことが明るみになりました！！

第2位

3階病棟

【退院後も寄り添える看護・介護】

退院後の自宅訪問16件、電話訪問2件。退院後に出来ていることが増えていることがわかり、住み慣れた家で過ごすことの大切さ、在宅介護の力を実感する結果に！！スタッフのモチベーションもアップしました。



第1位

外来（小児科）

【現代の身近なツール「LINE」に乗っかって】

LINE公式アカウント開設から1年。登録者305名の方々にアンケートを実施し、どの様に活用されているかを調査。SNSで最新の情報を発信し、子育て支援にもつながっています。



総合診療医の魅力を教えてください。

「健康の社会的決定要因（SDH）」
とって、病気の背景には生物学的な要因だけでなく、社会的要因（教育・就業・生活環境・社会環境など）が存在するという意味ですが、表面上の治療や対応だけでは解決しない問題を抱えておられる患者さんが沢山おられます。信頼していただけるようコミュニケーションを大切に、患者さんの生きづらさに寄り添い自己決定を支えることが、総合診療医としての役割

であり魅力だと考えています。だからこそ病気が良くなり、問題が解決したときに「ありがとう」と言ってもらえると、この仕事をやっていてよかったと心から感じます。

医師のために教育プログラムを設けています。院長として組織と人を動かしながら、あらゆる方々と手を携えてこの地域を健康にしていくのが私のこの先の仕事だと思っていますね。

りたいと考えています。最近では哲学にはまっているのですが、人が生きる根源的なことをよく考えるようになりました。ルソーは人間には強い利己愛の一方で、慈悲や人間愛という情（ピティエ）が備わっていると説いています。私は人徳と解釈していますが、生産性や効率性で人間の価値を評価する資本主義のひずみで苦しんでいる人々にもしっかりと手を差し伸べることが出来る医師を増やしていきたいと考えています。そのため協立病院にも総合診療医を専攻する

当院では2012年から「ありがとうカード」を活用しています。「感謝の場面」に遭遇したときに、言葉で伝えることに加え、感謝のメッセージを文字にして職員から職員へ渡すようにしています。「評価してくれて嬉しい」「職場の雰囲気良くなる」と職場環境の向上に役立っています。

ありがとうカードの
2022年度発行枚数

416件



数字でみる

KYO
きょうりつ
RITSU

病気の背景にある問題に、
一緒に向き合いたい

